

## 環境技術研究所ニュース：

### 研究所研究員が大矢知平津産廃の支障除去工事ほぼ終了の見学会参加

2022年9月12日（月）の午前9時から研究員らの支障除去工事完了間際の現場見学会へ参加しました。この大矢知地区平津地区調査は環境技術研究所の調査研究の一環として、例えばこの東部の中溜池水質調査など過去幾度か行われています。午前中は晴れて、気温も熱くはなくよい日和でした。

産廃跡地は30数億円かけた行政代執行・跡地支障除去工事はH24年以来、この9月末で終了し、R5、23年3月には完成とのこと。天端部は厚さ50cmの覆土工+砕石20cmの山頂部廃棄物層の覆いと、地下水浸透防止の観点から、3haの平坦な見晴らしのいい頂上部として完成しています。しかしこの露天場所の雨水はすべて西水路へ。この部分の調整池は10年確立での設計とのこと。

その一角にH16-20とH19-1の地中水調査用のボーリング調査孔が残っていました。H19-2とH19-3は無いようです。このH19群は過去平成20年の東邦地水の調査で、ダイオキシン類が出た場所です。（以下の報告↓参照）

以上のように、3箇所の観測井において、ふっ素、ほう素、ダイオキシン類の項目で、環境基準を超過した。H19-1孔では、鉛、砒素が、H19-2孔ではPCBが、H19-3孔では鉛が環境基準を超過した。

過去(H14~H16)に実施された有害物質等検出項目と今回の環境基準を超過した試験データを一覧すれば、次表のとおりである。

表 3.3 過去に実施された有害物質検出項目と今回環境基準を超過した項目

番号	分析項目名	単位	指定基準	H19-01 孔	H19-02 孔	H19-03 孔
12	カドミウム	mg/L	0.01 以下	0.007	0.001 未満	0.001 未満
15	鉛	mg/L	0.01 以下	1.0	0.006	0.21
16	六価クロム	mg/L	0.05 以下	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満
17	砒素	mg/L	0.01 以下	0.020	0.005 未満	0.006
19	PCB	mg/L	検出されないこと	検出されず	0.0008	検出されず
22	1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.004 以下	0.0004 未満	0.0004 未満	0.0005
23	1,1-ジクロロエチレン	mg/L	0.02 以下	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満
24	シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.04 以下	0.004 未満	0.004 未満	0.017
27	トリクロロエチレン	mg/L	0.03 以下	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満
30	ベンゼン	mg/L	0.01 以下	0.002	0.001 未満	0.008
32	ふっ素	mg/L	0.8 以下	9.2	7.3	2.8
33	ほう素	mg/L	1 以下	36	23	22
36	ダイオキシン類	Pg-TEQ/L	1 以下	5.2	3.1	3.8

東邦地水の H20 調査報告からのダイオキシン類、PCB、鉛などの検査結果



H19-1 のボーリング井戸孔と北方の遠景(右遠方に平津団地)

**四日市市大矢知・平津事業支障除去対策工事現場見学会**  
**【対策工事の施工箇所と対策後の状況について】**

令和 4 年 9 月  
三重県環境生活部廃棄物対策局  
廃棄物適正処理PT

※ 航空写真は令和 4 年 8 月に撮影

**全体計画平面図**

**天端部**

**A**

**天端部を撮影**

**B**

**天端部から北西方向を撮影**

**C**

**北西方向から天端部を撮影**

1

今回は、県の廃棄物適正処理プロジェクト・チーム(PT)による、現場説明会で9時の部は40名程度の参加者が居ました。はじめに、PTの春日井氏が土地所有者で白地や不明者の土地などのある現状では、具体的に今後の跡地利活用が出来かねる状況説明と、取り敢えず、令和5年、23年1月には東・北・西の進入路沿いに132本のさくらの植樹をすること。渡辺大矢知地区連合自治会長からは、住民が結集できた産廃大問題で、残念ながら全量撤去は出来かねたが、周辺有害物質管理は水質で今後、年に1回(直近ではこの11月)実施し、その間は電気伝導度(EC)計で溜池など簡単に測れるのでチェックしたい、汚染物質との関係は取れそうとのことであった。鶴岡会長からは、H25以来の大工事で何とかここまで来た。廃棄物の埋設されている事実とこれからの有効利用(グラウンドや散策路など)もしていないと。跡地の管理体制はまだ。

その後、2班にわかれて、西水路・調整池と東の中溜池のコースで、R5年以降幅35cmの歩行者出入り用のゲートの中溜池と東の平津の給水塔の南と西水路と3か所設置し、内部の地権者の作業用の軽トラは地区市民センターで大門用のカギをもらって開けて入れる。いずれも不法投棄対策とのこと。散策はR5以降自由。

なお、西水路西の通称猿ヶ谷のK-5地点は周辺地域の最西端の場所であり、我々の調査で、電気伝導度が高く、何かあるのではないかとこのことで、環境保全事業団に調査依頼した。

1. 依頼者名  
平津新町自治会 様

2. 業務名

3. 採取場所、試料名及び採取日時

採取場所	試料名	採取日時
平津町猿ヶ谷	K-5	2022年3月30日13時45分

4. 試料の受付方法  
出張採取

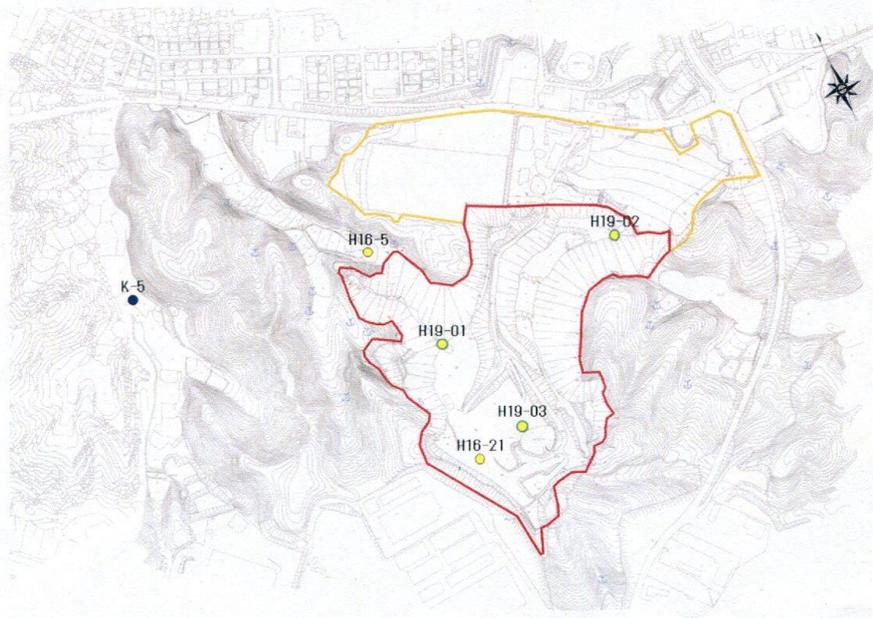
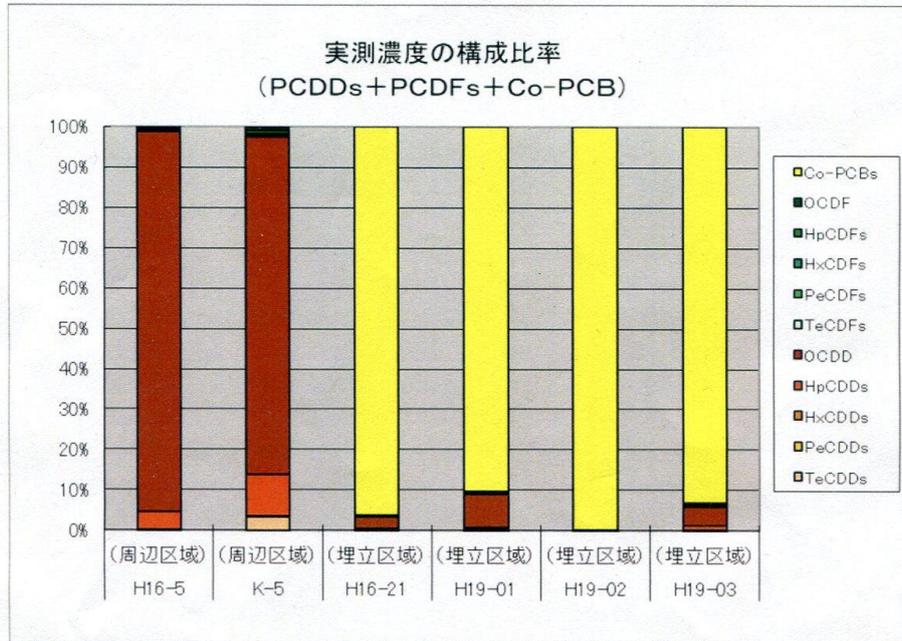
5. 測定方法  
JIS K 0312 (2020)

6. 測定結果

試料名 (採取場所)	ダイオキシン類 毒性等量	単位
K-5 (平津町猿ヶ谷)	4.3	pg-TEQ/L

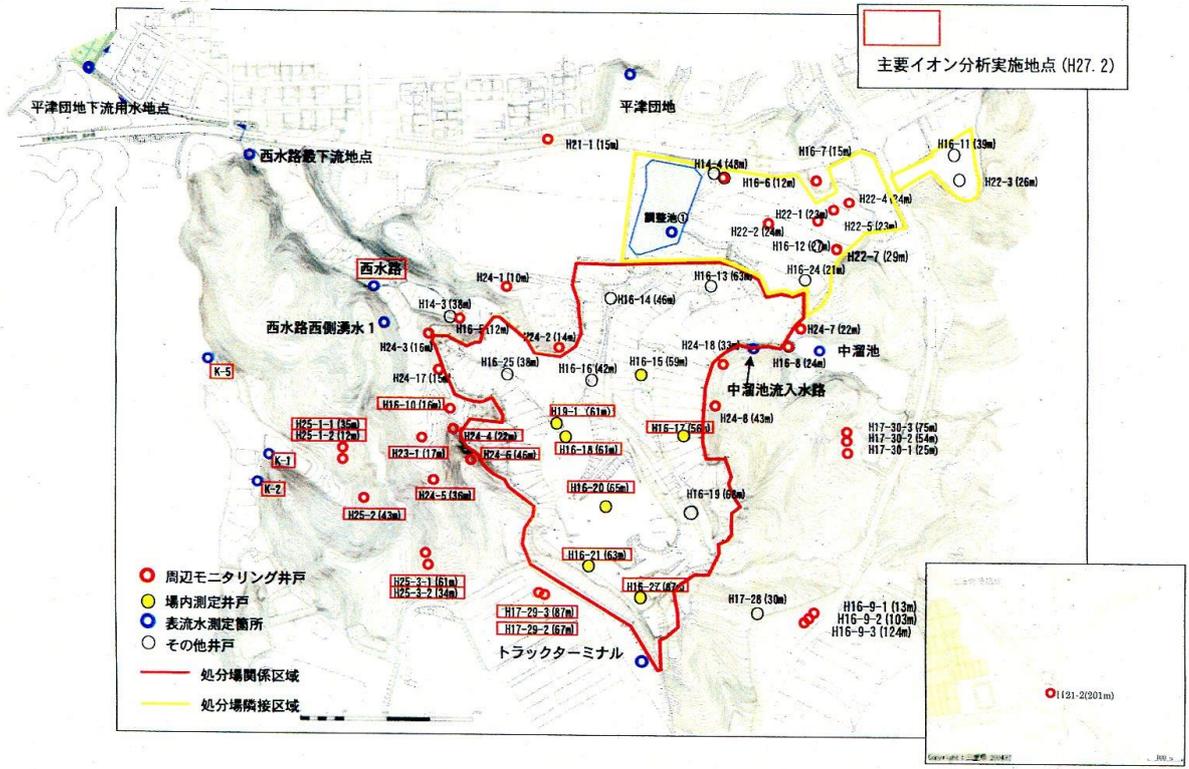
7. 分析機関等

試料採取機関：一般財団法人 三重県環境保全事業団  
分析機関：帝人エコ・サイエンス株式会社



結果は、4.3 倍のダイオキシン類の発生で、県の指摘では表層水で、ダイオのパターン分析では農薬起源とのことであった。

### 四日市市大矢知・平津事案調査位置図



### 別紙 1

試料名称	計測対象 試料採取日	ナトリウム	カリウム	カルシウム	マグネシウム	塩化物イオン	硫酸イオン	硝酸イオン	1,4-ジオキサン	電気伝導率	地下水位	
		(単位: mg/L)	(単位: mS/m)	El. (m)								
大矢知・平津 観測井戸 H16-10	平成27年2月27日	150	48	65	48	58	770	4.1	0.069	119	32.30	
大矢知・平津 観測井戸 H16-17	平成27年2月26日	550	230	49	41	310	1900	0.1	0.80	381	32.61	
大矢知・平津 観測井戸 H16-18	平成27年2月27日	570	63	27	5.9	700	560	23	0.82	266	41.58	
大矢知・平津 観測井戸 H16-20	平成27年2月27日	760	110	96	34	420	1900	0.5	0.50	327	40.69	
大矢知・平津 観測井戸 H16-21	平成27年2月26日	1300	220	31	23	730	2900	0.2	1.5	598	38.74	
大矢知・平津 観測井戸 H16-27	平成27年2月26日	240	60	92	59	120	1100	0.1	0.25	196	31.51	
大矢知・平津 観測井戸 H17-29-2	平成27年2月23日	480	98	29	22	260	960	< 0.1	0.27	252	34.01	
大矢知・平津 観測井戸 H17-29-3	平成27年2月23日	540	83	63	48	560	780	0.2	0.43	326	24.19	
大矢知・平津 観測井戸 H19-1	平成27年2月27日	1300	180	31	14	760	2600	4.7	0.83	520	40.15	
大矢知・平津 観測井戸 H23-1	平成27年2月27日	560	26	130	60	410	1100	68	0.40	263	32.10	
大矢知・平津 観測井戸 H24-4	平成27年2月24日	85	24	81	20	53	450	34	0.014	91.0	31.63	
大矢知・平津 観測井戸 H24-5	平成27年2月24日	280	13	42	7.9	320	310	5.6	0.074	149	33.84	
大矢知・平津 観測井戸 H24-6	平成27年2月24日	630	54	81	35	370	1300	5.6	0.30	285	32.98	
大矢知・平津 観測井戸 H25-1-1	平成27年2月23日	1300	52	190	79	1200	2100	4.1	0.47	628	30.69	
大矢知・平津 観測井戸 H25-1-2	平成27年2月23日	8.9	3.7	5.5	2.2	7	19	11	< 0.005	8.8	34.09	
大矢知・平津 観測井戸 H25-2	平成27年2月23日	1800	180	130	48	1700	2800	1.7	0.70	841	31.62	
大矢知・平津 観測井戸 H25-3-1	平成27年2月23日	1700	250	96	44	1900	2800	0.7	0.79	784	31.47	
大矢知・平津 観測井戸 H25-3-2	平成27年2月23日	1000	190	92	59	1300	1200	1.2	0.53	541	33.74	
大矢知・平津 表流水 西水路	平成27年2月27日	160	16	53	21	150	320	42	0.10	87.5	-	
大矢知・平津 表流水 K-1		42050	9.7	2.4	4.3	2.4	8.3	21	9.3	< 0.005	9.1	-
大矢知・平津 表流水 K-2	平成27年2月25日	130	8.7	44	16	160	180	11	0.080	82.9	-	
大矢知・平津 表流水 K-5	平成27年2月25日	310	20	110	63	540	420	12	0.38	216	-	
測定下限値		0.1	0.1	0.1	0.1	0.05	0.5	0.1	0.005			

しかし、上記の分析どおり、天頂部地下水の H19-1 と塩化物や 1,4 ジオキサン、ナトリウム等でパターンが似ており、この K-5 表層水も何らかの東の産廃場地下水の影響がある。

以上が、2022年9月段階での、大矢知平津地区の産廃処分場跡地についての現状報告である。下記は2022年3月のEC計による現地電気伝導度計測結果：

